

## 令和元年度 第1回苫小牧市環境基本計画推進会議 会議録

令和元年6月11日（火）13：30～15：00

苫小牧市民活動センター講習室

### （環境保全課長補佐）

ただいまより、令和元年度第1回苫小牧市環境基本計画推進会議を始めます。  
はじめに、苫小牧市環境基本計画推進会議委員の委嘱状交付をいたします。

～委嘱状交付～

### （環境保全課長補佐）

以上を持ちまして、委嘱状の交付を終了します。続きまして、開催にあたり、環境衛生部長の椿より御挨拶申し上げます。

### （環境衛生部長）

皆様には、日頃から本市の環境行政推進にあたりまして、ご協力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

このたび、任期が満了したことに伴い、環境基本計画推進会議の委員の公募や市内の企業・団体には委員就任をお願いし、今回、公募と推薦を合わせ14名の方にお引き受けいただきました。

只今委嘱状をお渡しいたしました。この任務についてはボランティアにもかかわらずお引き受けいただきましたことに対しまして、心から御礼申し上げます。

この推進会議につきましては、平成16年に市の環境基本計画を推進するために組織したものとっております。

計画の推進は、行政主体で進めるものと、市民・事業者・行政の三者が協働して進めることが望ましい事業があり、推進会議は後者の役割を担っております。

私たちをとりまく環境問題は、公害や自然環境、廃棄物、さらには地球規模の温暖化問題など、実に幅広いものとなっております。

本推進会議の役割として、環境の保全について広く市民に知っていただくために、市民・事業者・行政の三者のパートナーシップで事業に取り組むことが重要ではないかと考えております。

どうか皆様方には、活発なご議論をいただき、計画の推進にご協力いただきますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

### （環境保全課長補佐）

続きまして、本日御出席いただいた委員の皆様方から、順番に自己紹介をお願いします。

～各委員自己紹介～

**(環境保全課長補佐)**

皆様、ありがとうございました。  
続きまして、事務局の紹介をさせていただきます。

～事務局紹介～

本日、久保田委員、滝本委員、西田委員、堀抜委員、山川委員、山下委員が所用により欠席との御連絡を受けております。

次に、会長、副会長の選任についてお諮りいたします。

会長は、会を代表し、会の進行役となる方でございます。また、副会長は、会長を補佐し、職務を代理していただく方でございます。選考方法について、御意見ございますでしょうか

**(A 委員)**

事務局一任。

**(環境保全課長)**

会長に上田委員、副会長に小林委員をご提案させていただきますので、御審議をお願いします。

**(環境保全課長補佐)**

異議がなければ拍手で承認いただきたいと思います。

～拍手（異議なし）～

～会長、席の移動～

**(環境保全課長補佐)**

会長より、会長就任にあたり一言、御挨拶をお願いします。

**(会長)**

ただいま、会長に就任しました上田と申します。よろしく申し上げます。

どこまで貢献・寄与できるかは、私自身というよりは、皆さんの意見や、皆さんの後ろにいる組織・地域の方だと思います。その方たちをどう促進するかが皆さんの役目であり  
ます。

その活動促進するきっかけがこの会議であり、私の役割が寄与できればと考えております。

事務局の皆さんのご尽力を受けながら、活動が促進できるよう議事を進めてまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

#### **(環境保全課長補佐)**

小林副会長より一言、御挨拶をお願いします。

#### **(副会長)**

何だかんだ三期目で参加していることになります。

何がそう私の心を動かすのか定かではないが、苫小牧の良いところを少しでも市民のみなさんと一緒に見つけながら、その大切さを維持していけるよう、一緒に考えたいと思います。次世代の子供たちが自然に触れて生き生きしている姿を見るのが楽しみで、参加しております。

この会議の前にもエコ企業見学会に参加し、王子製紙を広い範囲で見ることができて、苫小牧市にいても知らないことがたくさんあると感じ、それを周りの人に伝えていきたいと思います。

身障者なので、あまり歩くことはできませんが、できることをやるのが私のポリシーですので、ご迷惑をかけるかと思いますが、よろしくお願いいたします。

#### **(環境保全課長補佐)**

ありがとうございました。

会議に入るにあたり、本審議会の会議録につきましては、「苫小牧市市民参加条例」第11条により公開することとなっており、ホームページ等で公開してまいりますので、あらかじめ御了承願います。

それでは、これからにつきましては、会長が議長として会議を進めてまいりますので、会長よろしくお願いいたします。

#### **(会長)**

それでは、次第により会議を進めてまいります。

事務局より報告の後、質疑応答という形で行います。質問等がある方は挙手をお願いいたします。

本日の会議は15時終了を予定しておりますので、御協力をよろしくお願いいたします。

それでは、次第6、報告等の(1)苫小牧市環境基本計画推進会議について、(2)苫小牧市第3次環境基本計画の概要について、事務局から説明をお願いします。

**(環境保全課主査)**

～(1) 苫小牧市環境基本計画推進会議、(2) 苫小牧市第 3 次環境基本計画について説明～

**(会長)**

国が決めた環境基本計画に基づいて、苫小牧市が環境基本条例を作る。かつ、市の第 6 次総合計画とあわせて、第三次環境基本計画を作ったのが「環境審議会」です。

作られた環境基本計画をどう推進していくかアクションを起こすのが、私たちの役目になっている、という解釈でございます。

皆さんの中で、こういうことではないのかという意見や、基本計画と推進会議の関係について何かございますか。

～質問・意見無し～

では、(3)平成 30 年度の実施事業について事務局からお願いします。

**(環境保全課主事)**

～(3)平成 30 年度実施事業について説明～

**(会長)**

この報告について、何か御意見御質問ございますか。

～質問・意見無し～

アンケートは別途取られているので、これに対する効果も押さえられていると思います。希望される方は、別途、事務局の方にお問い合わせください。

では、(4)令和元年度実施事業について事務局からお願いします。

**(環境保全課長)**

内容説明の前に、お詫び申し上げます。

エコ企業見学会と植樹会につきまして、本来であれば会議での承認を得たうえで実施すべきでしたが、日程の都合上、会議開催前の実施となりました。申し訳ありません。

**(環境保全課主事)**

～(4)令和元年度実施事業について説明～

**(会長)**

冒頭にもありましたが、会議開催前、日程の都合上、5/21 にエコ企業見学会を行ったということです。

今回は、実施計画のうち 2 つ（せせらぎスクール、自然体験活動①）の提案ということです。

今年度の活動については昨年度中に委員の皆さんからアイデアを募集し、事務局の方で日程等を調整して実施した経緯があるということです。

これらをご理解いただいたうえで、何か御意見御質問、感想等がございますか。

### **(B 委員)**

せせらぎスクール、ウトナイ湖での水質調査（パックテスト）や水生昆虫の採取で、覚生川やウトナイ湖の水質が数字で表示されるということ。毎年やっているが、変動はあるのか。

もう一つは、基本計画 PDCA サイクルの A (Action) として、これから覚生川・ウトナイ湖に対して、我々推進委員の立場から、保全や対策、提案・提言につなげるということはあるでもいいのか。次の計画に盛り込むということはないのか。前向きにとらえていただきたい。

### **(環境保全課主査)**

年度によって水質の変動があるのかということですが、覚生川（せせらぎスクール）においては、さほど変動がなく、きれいな水質という判定結果が出ています。

環境保全課として、今後、この水質を維持できるような取組みを、新たな事業計画として考えていくことは可能です。

ウトナイ湖に関しては、きれいな水質という判定結果ではありませんが、汚いという訳ではありません。川の流れ（流速）が少なく、酸素濃度が低いということです。

特に対策をどうするという話にはならないと思います。

### **(B 委員)**

平成 21 年から継続しているからこそ、結果を生かしている評価がもらえると思います。

環境教育という視点からいうと、自分の行動が変わるかどうか重要。

きれいな水だと知ったからこそ、次からどうするか、行動に反映出来たらと思っています。こういったことを今後の議論の中で私たちが考えていけばいいのかなと思いました。

### **(会長)**

他に何かありますか。

### **(C 委員)**

一つの結果として、イベントを通じて、参加者から「自分だったらこういうことができる」という提案や目標があればいいのではないのでしょうか。「面白かった」「良かった」の感想だけではなく。

**(会長)**

感想だけでなく、自分の生活が変わるくらいのモチベーションが上がるものを考えられるといいですね。それは私たち委員の仕事かもしれません。

おおむね事務局の方からやっていただいています。今後に向けたアクションをどう考えていくか、実行委員がストーリーを作っていかなければなりません。

この事業は、基本、推進委員が作っていて、それを支えているのが事務局です。

**(環境保全課長)**

アンケートの中で、「エコに関する取組みを今後どうしていきたいか」という意見をいただく項目もあります。

**(C委員)**

アンケートに書くのもよいが、みんなの前で公開、シェアすることで、自分の中での目標が大きくなると思う。

**(会長)**

我々としてはそれを際立たせるのが重要ですね。

他にいかがでしょうか。

無ければ、(5)令和元年度事業結果報告について事務局からお願いします。

**(環境保全課主事)**

～(5)令和元年度事業結果報告について説明～

**(会長)**

ありがとうございます。

王子製紙で植樹した樹木の種類は何でしょうか。

**(環境保全課長補佐)**

ミズガラ 652本、マツ 500本、合計 約1550本です。

王子製紙だけではなく、漁協や駅前振興会など約100名で毎年(20年以上)行われる植樹会に、今回参加させていただいたところです。約30分程度の作業できれいに植樹できました。

**(会長)**

何か御質問ありますか。

～なし～

数的にどう評価されているのかをお聞かせください。

参加者 17 名というのは適正で、狙い通りなのでしょうか。それとも、多いか少ないか。

**(環境保全課長)**

なかなか集まらなかったのは確かです。

王子製紙が主体なので平日の開催となったが、ずらすこともできたとは考えています。

**(会長)**

昨年度の会議でも挙がっていた、広報の在りかたについて、質と量などが限られた中でどうやるのか、というのがなかなか解決しないままです。

そんなに広報しなくても集まるし、ちゃんと広報したにも関わらず集まらなかったという経験もあります。

しかし、良い案はあるのかというと、どの手法も一長一短で、なかなかうまくいきません。結果、狙い通りにはいかない状況が続いているのが正直なところでしょうか。

**(環境保全課長)**

例えば、せせらぎスクールは毎年好評ですが、昨年度については、第一候補日は雨天中止、第二候補日は港まつりと重複したため参加者が少なくなりました。

日程の設定さえ間違えなければ、集まっていただけます。100 名を超えたときもあります。

**(会長)**

日程の設定は仕方ないので、委員のみなさんをお願いするしかない。事務局の責任にはしたくない。

もし集まってない場合は、「これだけしか集まっていないので周知をお願いします」と事務局から委員へ連絡をいただくことはできますか。

**(D 委員)**

せせらぎスクールは、夏休み中だから平日に設定したのですか。

～事務局 「はい」～

**(A 委員)**

締切日までに集まらなかったらどうするか考えたい。20 名くらい足りないよ、といった連絡をもらってもいいと思います。

**(会長)**

今回のエコ企業見学会は 40 人のところ 17 人だったということですよ。

締切前に委員に情報が流れれば、声をかけやすい。私たちがどこまで声掛けできるかわかりませんが、事務局は、委員に連絡することについてどう考えていますか。

**(A 委員)**

やっぱりクチコミは効果がありますよね。

**(E 委員)**

事務局から連絡をもらうのも一つですが、私たちから「今何人くらいですか」と声をかけるのもありだと思います。一緒にやっていることなので。

**(会長)**

私たち委員が主体となり積極的に声をかける、というのが活動の前提です。

ただ、事務局のほうに〇名参加という情報が集まっているので、私たちは積極的に聞くべきだし、場合によっては事務局から連絡をいただければありがたいです。

もう一つ、今後皆さんに考えていただくことは、来年度（令和 2 年度）の活動を計画するとき、ビジョンがしっかりしていて集客力がある、興味を持ってもらえる企画をすること。

もちろん、予算や回数、人数の制限はあるので、何が良いとは言えませんが、それぞれの立場で、いいアイデアがあれば出していきたいですね。

事務局から何かありますか。

**(環境保全課長)**

平成 30 年度の参加者数の実績でいえば、まあまあ集まっていますが、足りないとも言えます。

推進委員さんの御協力もいただきながら、次回以降、魅力ある事業にしていきたいと考えています。

**(会長)**

数字だけ見て参加者が少なくても、数百人分のインパクトがあるのであれば、成果は高いともいえるし、一方で、数字の面で目標に届いていないともいえる。

まずは、誰にでも評価してもらえるような参加者数を確保するというので、よろしくお願いします。

次に、(7)その他、事務局から何かございますか。

～事務局「なし」～

皆さん、全体を通して何かございますか。

**(D 委員)**

自然体験活動は、8月下旬とありますが、日時は確定していないのでしょうか。

**(環境保全課主査)**

まだ確定しておらず、環境生活課と日程を調節しております。

**(会長)**

せっかくですので、皆さんにとって、推進会議に期待すること・自分自身がやっていきたいこと・感想などございますか。一言ずつお願いします。

**(A 委員)**

生活が便利になればなるほど、環境が悪くなるという整合性を考えることが大事だと思っています。

実際、プラスチックは汚れていると再利用できないが、洗うと水の無駄になる。

生活に密着しているものを掘り下げるのも大事と感じ、自分たちが生活の中で何をクリアしていけるのか考えていきたいです。

**(会長)**

日本でいうと、割りばしはきれいなものをお客様にお出しするという、おもてなしの意味もあるので、難しいですね。生活の中での意識改革も必要だと思います。

**(D 委員)**

今まで、イベントの情報が広報に載っていても、見ていませんでした。せっかく良い活動をしているのに知られていないのはもったいないと感じました。

まずは、学校や地域に知らせるのが大事で、今後は、委員として、一人でも多くの人に周知し、子供たちの環境に対する意識を、小さなことから教えていきたいと思います。

**(会長)**

紙よりも、口で伝えるのも大事かもしれませんね。

**(F 委員)**

社内でも環境問題に取り組んでいますが、最終的には個人の意識を変えることが重要と感じます。

私生活においては、環境に対する優先順位が低いのかもかもしれません。

次世代の子供たちに対する教育が必要と感じますが、どうですか。

### (会長)

土日に私たち推進委員が活動することもあれば、各学校の授業（教育課程）で推進している部分もあって、6ページにあるように、課を越えて、保全課から教育委員会へお願いしているものもあります。

これが適切かどうかはこれから評価していくことですが、皆さん興味関心が高いと思います。推進するものの一つとしてどうあるべきなのかと感じました。

### (G 委員)

私の所属する会社では木材関連のリサイクルをやっているので、植樹を提案させていただきました。今年度、実際に行くことになり、うれしくっております。

今後も皆さんも参加できるような企画を考えていきたいと思います。

### (会長)

話を聞くだけでなく、実際に触れて手を動かすということも有効だと思います。手間をかけても伝わるのであれば、方法として今後も積極的に取り入れていくのがよいと感じました。

### (C 委員)

今でこそ推進委員をやらせてもらっていますが、自分は福岡出身で、小さい頃、夏はクーラーを 19℃にするなど環境について何も考えていませんでした。

大きなインパクトがあるほど、人の意識は変わると自分の人生で感じているので、来年以降のイベントについても、インパクトある面白い提案をできればと思います。

### (E 委員)

車の運転では、エコな発進を日常的にやっています。

前年度、女性の推進委員仲間を 3 人増やしたが、今回は誘えなかったのが残念です。

今回の会議で、新しい女性の仲間ができてうれしいです。

今年の目標は、エコの森のイベントに参加することです。

### (H 委員)

近頃の高齢者の運転事故のニュースについて、自分自身も 80 歳を超えて、肩身が狭く、悩んでいる問題。車の運転はエコにつながると考えています。

令和元年度の事業内容について、毎年同じ趣向にあると感じました。もう少し、別の視点から考えた新しい企画も必要ではないでしょうか。

例えばエコ企業見学会も、ただ企業を変えるのでは進化せず面白みに欠けるので、今後色々と考えていく必要があると思います。会議でも検討していきたいです。

**(会長)**

新しく委員になられたということで、新しいことを考えるチャンス。皆さん、主体的に取り組みましょう。

私自身も、委員を引き受けることは大きな転機と感じています。

いぶり自然学校でも、植樹や間伐作業は、馬を使って運搬するなど、化石燃料を使わない手法をつい最近始めたところです。

あらためて、この会議を通じ、人に押し付けるのではなく、自分たちで推進することが大事と感じています。

皆さんにとっても、人生が変わるきっかけになる時間であればいいなと思います。

皆さんから出てくるアイデアが来年以降重要となるので、よろしくお願いします。

それでは、時間になりましたので、終了してもよろしいですか。

**(環境衛生部長)**

先ほど、町内会や教育機関との連携というお話がありました。

我々も、もっと周知したい思いはありますが、町内会は5のつく日にしか文書を発送できず、教育機関に文書を送るにも校長会議を通じなければなりません。

唯一許されているのは、広報とまこまい、HP、Facebook ですが、どうやって広報していくかは難しいところです。

A委員もおっしゃっていましたが、クチコミが大事であると感じますので、みなさんの御協力をお願いします。

**(会長)**

それでは終わります。お疲れ様でした。

～15:00 終了～